

南信州地域

飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

管内の概況



リニア中央新幹線ルート

東京から…約45分(推計)
名古屋から…約25分(推計)

飯田市
リニア長野駅(仮称)が設置される市として、リニア効果を最大限に活かすまちづくりに取り組んでいる

高森町
干し柿の高級ブランド「市田柿」発祥の町。伝統の味をバターなどでアレンジしたスイーツも若者に人気

松川町
果樹栽培の歴史は100余年。くだもの里として知られ、四季折々で様々なくだもの狩りが楽しめる

大鹿村
「日本で最も美しい村」連合に加盟し、大鹿歌舞伎や集落景観等地域資源を活かす取組を行っている

豊丘村
南信州の台所「道の駅南信州とよおかマルシェ」、特産の松茸、りんご等の果物が有名

阿智村
日本一の星空と花桃という湯(昼神温泉)の郷として年間を通して観光客で賑わう

平谷村
信州の南端に位置しながら標高は村の中心部で920mもあり、大自然に囲まれた夏の涼しさは格別

根羽村
過疎地域持続的発展優良事例表彰総務大臣賞を受賞するなど過疎に負けない活気と熱意が自慢

売木村
準高地で自然環境にも大変恵まれ、市民ランナーが気軽に個人合宿を楽しむ場として最適

天龍村
信州に春を告げる村。県下で最も温暖な地と言われ、県内で一番早く梅や桜が開花する

喬木村
県内屈指のイチゴ産地。「大造じいさんとガン」の作者である児童文学者の椋鳩十の生誕の地として有名

下條村
そばを特産品として売り出し中。薬味として信州伝統野菜の「親田辛味大根」との相性も抜群

泰阜村
村名の由来は漢詩の「泰山丘阜」から。「泰」は水路を両手で拓く、「阜」は豊かで盛んな様子を意味する

阿南町
国道151号は別名「祭り街道」と呼ばれ、多くの民俗芸能の伝承と文化の香る長野県南の玄関口

長野県総合5か年計画 しあわせ信州創造プラン3.0 南信州地域計画 普及版

長野県南信州地域振興局
〒395-0034 長野県飯田市追手町2-678
TEL.0265-53-0401 FAX.0265-53-0404
E-mail minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

計画本編は
こちらから



長野県総合5か年計画

しあわせ信州 創造プラン3.0

南信州地域計画普及版

リニア新時代のドアを拓く
伝統文化と最先端技術が共栄する南信州

南信州 地域の特性



- 古くから三河(愛知県)や遠州(静岡県)を結ぶ南の玄関口として発展してきました。リニア中央新幹線開業、三遠南信自動車道開通が予定され、関連の道路整備が着々と進められており、将来、ヒト・モノ・コトの交流が飛躍的に増加することが期待されています。
- 豊かな自然環境の中で特色ある伝統文化が育まれ、人形芝居や農村歌舞伎等の民俗芸能が数多く継承されていることから、「民俗芸能の宝庫」と呼ばれています。
- 環境先進地として、ゼロカーボン社会実現への住民意識は高く、県下に先駆けて「南信州プラスチックスマート推進協議会」が設置されるなど、地域活動が活発に行われています。
- 精密加工の技術を自動車や航空機分野に活かした製造業が多く存在し、温暖な気候・中山間地域の地勢を活かした多様な農林畜産物等の生産が行われています。

南信州地域の めざす姿

リニア新時代のドアを拓く 伝統文化と最先端技術が 共栄する南信州

地域重点政策

リニア中央新幹線開業や三遠南信自動車道開通により、多くの地域やヒト・モノ・コトの交流が生まれ、様々な共創が行われることで、自然や地域資源を活かした新たな活動が展開されるなど、夢が実現できる地域として活気に溢れています。

1 高速交通網開通の効果を最大限に活かす基盤整備

▶P3-4

特色ある伝統文化や公民館活動で培われた学び、ゼロカーボン社会実現に向けた活動などの取組が繰り広げられています。さらに「大学のあるまちづくり」が推進され、活力のある地域が形成されています。

2 伝統を守り未来を見据えた持続可能な地域づくり

▶P5-6

DX*の浸透により、付加価値の高い製品を製造するなど、足腰の強い産業基盤が形成されています。また、市田柿、日本なし、南信州産木材などのブランド化や先端技術の導入により、競争力の強い国内有数の生産地に成長しています。

3 地域資源や特性を活かし地域を支える産業振興

▶P7-8

地域の生活を支える医師、福祉・介護人材の確保やICT(情報通信技術)を活用したオンライン診療の拡大などにより、必要な医療・福祉が提供されています。また、道路改良や災害に強い治山・砂防施設等の基盤整備、防災体制の構築などが進み、安全で安心して暮らせる地域となっています。

4 安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり

▶P9-10

* DX: 「デジタル技術」と「データ」を活用して、既存の業務プロセス等の改変を行い、新たな価値を創出して新たな社会の仕組みに変革すること



高速交通網開通の効果を最大限に活かす基盤整備



リニア中央新幹線開業や三遠南信自動車道開通の効果を最大限に活かすための最重要期間として、官民一体となって都市圏との交流や地域の魅力を発信することにより、南信州の認知度向上に取り組むとともに、インフラ整備やリニアバレー構想*に掲げる地域づくりを確実に進めます。



現状と課題

- 食や農産物、伝統文化といった地域資源の魅力をしっかりと伝えるためにも、まずは住民がその魅力を認識する必要があります。
- 地域内で個々に展開されている魅力的な活動を発展させるためにも、それらをつなぐ人材や仕組みが不足しています。
- 中京圏や静岡県における認知度は向上していますが、首都圏においても認知度を向上させる必要があります。
- 高速交通網開通の効果を共有し活かす取組を、官民一体で進めることが必要です。

取組内容



高速交通網を活かす 道路交通基盤整備

- リニア駅*へのアクセス道路等の関連道路整備を進めます。

リニア時代を見据えた 情報通信基盤整備

- 市町村や民間と連携して地域社会全体のデジタル化や、それらを支える情報通信基盤整備を進めます。



人材や企業を呼び込む 「つながり」の創出

- 地域に人を呼び込む果樹オーナーや山村留学などの取組を充実させるとともに、効果的な情報発信の仕組みを構築します。
- 「地域の宝」×「都市圏とのつながり」を創出するキーパーソンにより発信力を高め、地域間交流を促進します。
- 個々に展開している取組や官民の連携を関連付けてつなぐことにより、地域づくりの更なる推進を図ります。



銀座NAGANOでの移住交流イベント

地域の魅力発信の促進

- 官民の連携や他の地域との交流を通じて、この地域の可能性や魅力を県内外へ発信します。
- リニア駅における魅力発信施設等の機能のあり方を市町村と連携し検討します。

リニアバレー構想を 実現するための取組の推進

- リニア駅から近隣の地域をつなぐ効果的な二次交通*を市町村や関係団体と連携して整備します。
- 将来を担う世代が郷土愛を育むとともに、地元企業を知り、郷就につながるキャリア教育*の取組を企業や学校、地域と連携して推進します。
- 高付加価値企業などの誘致につながる取組を市町村と連携して促進します。
- 首都圏や海外からの誘客を見据えた観光コンテンツづくりを支援するとともに、地域と連携して周遊・滞在型観光の促進を図ります。
- 伊那谷の新たな景観スポットを発掘し、誘客につながる環境整備を促進するとともに、情報発信を推進します。
- 自動運転・AI*自動配車システムなど、次世代モビリティ*の導入に向けた研究を市町村と連携し促進します。
- 新たなワークスタイルの普及促進や滞在環境の整備を市町村と連携して進め、都市圏のクリエイティブ人材の誘致を図ります。



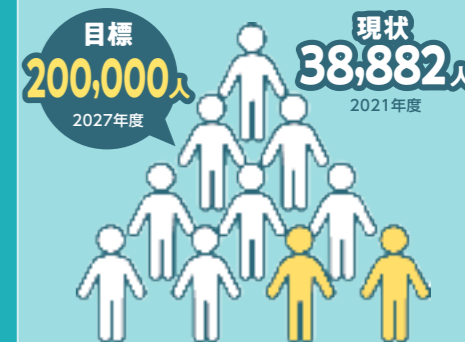
座光寺スマートインターチェンジ(飯田市)



伊那谷deキャリア教育研修会

達成目標

都市農村交流人口 (企画振興部調)



農業体験等で管内を訪れる都市住民の数
[コロナ前水準に回復し、取組等による増加を目標に設定]

* リニアバレー構想：
平成28年2月に伊那谷自治体会議が策定したリニアの整備効果を地域振興に生かすための地域づくりの指針

* リニア駅：
リニア中央新幹線長野県駅(仮称)のこと

* 二次交通：
複数の交通機関等を使用する場合の2種類目の交通機関

* キャリア教育：
一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成することを通して、キャリア発達を促す教育

* AI：
人間の言語を理解したり、論理的な推論や経験による学習を行ったりするコンピュータプログラムなどの人工知能

* 次世代モビリティ：
自動運転など新たな技術や手法を活用した移動手段(ドローンや自動走行車両など)

伝統を守り未来を見据えた 持続可能な地域づくり



古くから受け継がれてきた伝統文化や公民館活動で培われてきた学び、レジ袋削減にみる先駆的な環境活動など、地域が一体となって、守り育て未来につなげていきます。
また、地域と住民を支える小規模町村を支援する体制を強化します。



現状と課題

- 高等教育機関が少なく、進学で地元を離れる若年層が多い一方、Uターン者は少ない状況にあります。
- ゼロカーボン社会実現のためには、地域が一体となった取組をさらに加速させる必要があります。
- コミュニティの弱体化に伴う後継者不足が顕著で、地域の民俗芸能が存続の危機にさらされています。
- 行政需要が多様化する中、解決が困難な小規模町村の課題には、県のさらなる連携と協力が必要です。

取組内容



まちづくりにつながる 学びを促進

- 4年制大学等高等教育機関の学生や教員が学び、研究したいと思えるまちづくりを市町村と連携して促進します。
- 公民館活動やシニア大学、赤門スクール等での学びを通じ、住民が自主的・主体的に取り組む地域づくりを支援します。



* プラスチックスマート：
国際的に問題となっている海洋プラスチック問題に対して、環境省で推進しているプラスチックと賢く付き合っていく取組

* 特定地域づくり事業協同組合制度：
人口の急減に直面している地域において、地域の担い手の確保・定着及び地域における事業の維持・拡大を図るため、地域での安定的な雇用の場や一定の給与水準が確保できるように環境を整えることを目的とした制度

環境先進地としての ゼロカーボン社会に向けた取組の促進

- 省エネルギーや太陽光、小水力発電等の再生可能エネルギーの普及拡大を市町村や関係団体等と一緒に進めていきます。
- 環境関連のイベント開催や地域での環境学習などを通じて、気候変動について考え、その対策を意識した行動を呼びかけます。
- 海洋プラスチックごみの削減のため、プラスチックと賢くつきあうプラスチックスマート*を意識した行動を関係団体等とともに呼びかけていきます。



南信州環境メッセ2022

「伝統文化」の保存・継承の促進

- 民俗芸能団体への支援をより実質的なものとするため、南信州民俗芸能継承推進協議会と連携し、パートナー企業の支援のあり方を検討するとともに、更なる充実を図ります。
- 風流踊のユネスコ無形文化遺産登録を契機に、住民への一層の普及啓発を図るとともに、次世代へ受け継ぐ取組を支援します。
- 水引や阿島傘など「地域の技」、わら細工や炭焼きなどの「生活の知恵」が継承される取組を市町村等と連携して構築します。



和合の念仏踊り(阿南町)

小規模町村等との連携

- 年間を通じた地域の仕事の創出等のため、特定地域づくり事業協同組合制度*を活用した担い手確保・定着等に向けた取組を支援します。
- 専門人材が不足している小規模町村の課題解決に向け、必要に応じた担当職員の配置など、支援体制を強化します。



達成目標

ゼロカーボン イベント等参加者数 (南信州地域振興局調)



ゼロカーボンイベントや勉強会等に参加した合計延べ人数
[毎年1割増を目標に設定]

南信州民俗芸能 パートナー企業による 支援数

(南信州地域振興局調)



南信州民俗芸能パートナー企業制度の登録企業による民俗芸能団体等への年間当たり支援数
[登録企業数の増加等から目標を設定]

地域資源や特性を活かし 地域を支える産業振興



AI(人工知能)・ロボットなどの活用により産業のDXを浸透させる取組や地域の強みを活かした観光コンテンツの磨き上げを支援します。
また、市田柿や日本なし等競争力の強い果樹産地づくり、成熟期を迎えた人工林の主伐・再造林*を推進します。



現状と課題

- 付加価値の高い製品を生み出すなど、足腰の強い産業基盤の形成が必要です。
- 農業の担い手の確保や育成の強化が課題です。

- 地域の素材を活用して消費につなげられる観光コンテンツの造成が必要です。
- 伐採期に入った豊富な森林資源の利活用に向けた取組が必要です。

取組内容



新時代に対応する 産業振興の推進

- 次世代の航空機システムやモビリティ分野に求められる電動化・軽量化技術の研究開発や人材育成等を南信州・飯田産業センターと連携して支援します。
- DXの推進により経営改革を図り、事業体質を抜本的に見直すなど、持続可能な企業体への体質改善を支援します。



地域の特性を活かし、 皆があこがれる農業の実践

- 市田柿の新たな栽培者等への樹園地継承の推進と「市田柿」の地理的表示(GI)保護制度*を活用した海外でのブランド強化による輸出促進に取り組めます。
- 地域の生産者団体等が参画する「日本なし産地再生プロジェクト」により地域の抱える課題解決に取り組み、稼げる産地の再構築を推進します。
- 就農作戦会議等により、地域農業をリードする担い手の確保・育成強化と農福連携*等による多様な支え手の確保を推進します。
- 有機農業等の環境にやさしい農業の推進及び食育活動を通じたエシカル消費*を促進します。
- 地域の話合いにより、地域農業の将来像を明確化するとともに、地域ぐるみの共同活動を推進します。



地域の強みを活かした 観光コンテンツと受入環境の充実

- 森林資源に恵まれた里山の「暮らし・仕事・文化」などを活用した体験型コンテンツの研究と、その事業化に向けた取組を支援します。
- サイクルツーリズムの取組を支援するため、ルート設定等の促進や案内看板等の整備を推進します。
- 信州の南の玄関口(ゲートウェイ)から南信州地域内観光地への周遊性を高めるため、支障木伐採等の沿道環境整備を推進します。
- 南信州シードルのブランド化を進め、シードル産地としての認知度向上等の取組を支援します。



地域資源のフル活用を目指した 林業・林産業への転換

- 地域の急峻な地形に適した最新の架線系作業システムの普及を図り、「生産効率」と「利用率」の高い集材方法で主伐を進め、木材資源のフル活用を目指します。
- ニホンジカによる食害対策を工夫し、伐採跡地への再造林を確実にすることにより森林資源の循環利用を進め、国内外から選ばれる「木材生産地南信州」となることを目指します。
- 地域課題である放置竹林や農林業に被害を及ぼすニホンジカを「持続可能な資源」に転じ、地域資源として活用する仕組みをつくります。



達成目標

観光地消費額

観光地利用者統計調査(観光部)



管内観光地内で観光旅行者が支出した宿泊費、交通費、飲食費等の総計
[コロナ前水準(2015～2019年平均)を参考に目標を設定]

日本なしの早期多収 省力栽培技術導入面積

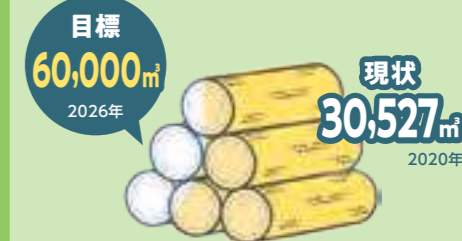
果樹振興計画調査(農政部)



日本なしの樹体ジョイント仕立て栽培技術の導入面積
[毎年1haの増加を目標に設定]

素材(木材)生産量

木材流通調査(林務部)



建築・チップ用等に使用される木材(丸太等)の生産量
[毎年2割増を目標に設定]

* 再造林：人工林を伐採した跡地に再び苗木を植えて人工林をつくること

* 地理的表示(GI)保護制度：
地域の特性が確立され、その地域ならではの要因と結びついた地域ブランドである農林水産物や加工食品の名称、酒類の産地名を地域で共有される知的財産として法的に保護する制度

* 農福連携：農業分野での障がい者等の就労を推進し、障がい者等の自立と農業の担い手確保等を目指す取組

* エシカル消費：持続可能な社会の実現のため、人・社会・環境・地域などに配慮した消費行動

安全・安心に暮らすことができる住みやすい地域づくり



地域の生活を支える医師をはじめとした医療・福祉・介護人材の確保に努めます。

また、災害に強い基盤整備や地域防災体制の強化を着実に進め、誰もが安全に安心して暮らすことができる住みやすい地域づくりを進めます。



現状と課題

- 医師数は県平均を下回っており、加えて医師の高齢化による無医地区の拡大が懸念されています。
- 自殺者は減少傾向ですが、さらなる対策が必要です。
- 災害が発生しやすい地勢に加え、小規模な集落が多いことから、地域の防災力の向上が必要です。
- 少子化や感染症の影響により、交通事業者の経営は厳しい状況にあります。

取組内容



誰もが生きがいを持ち、支え合う社会の形成

- ゲートキーパー（自殺の危険を示すサインに気づき、寄り添い、対応することができる人）の養成など、自殺予防に向けた取組を促進します。



健康で暮らせる地域づくりと地域医療・福祉・介護の充実

- 医療職合同就職ガイダンスの開催など、医師をはじめとした医療・福祉・介護人材の確保に向けた取組を促進します。
- 診療所のサテライト化やオンライン診療など、ICT（情報通信技術）を活用し、医療過疎地を支援します。



オンライン診療（売木村）

交通弱者に配慮した交通体系の整備

- 長野県公共交通活性化協議会を通じて、市町村が行う地域公共交通の確保・維持の取組を支援します。



災害に強い基盤整備の推進・地域防災体制の強化

- 緊急輸送道路の防災対策と重要物流道路や代替・補完路の整備に取り組みます。
- 治山・砂防連携による流木対策等災害に強い県土づくりを推進します。
- 市町村との防災訓練による災害時連携や大規模災害を想定した小規模町村の支援体制を強化します。
- 静岡県・愛知県・上伊那地域との合同防災訓練等により、圏域を越えた応援・受援体制を強化します。
- 飯伊消防協会と連携し、消防団が活動しやすい環境づくりを進め、団員確保を促進します。



防災訓練（喬木村）

達成目標

遠隔診療施設数 (飯田保健福祉事務所調)



緊急又は早期に 対策が必要な 橋梁における 修繕等の措置完了率

(飯田建設事務所調)



2014～2018年度の点検で緊急又は早期に対策が必要と確認された橋梁のうち修繕等の措置が完了した割合 [修繕等の措置がすべて完了することを目標に設定]